

東武鉄道株式会社 鉄道駅バリアフリーに関する整備計画【都内駅】

令和3年6月30日

1. ホームドア

①都内駅におけるホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

○ホームドア整備の現状
 都内区間におけるホームドア計画駅 18駅中、3駅(押上、北千住3F、池袋)が整備済み、5駅(小菅、五反野、梅島、西新井、竹ノ塚)が整備を推進中。
 (都内区間におけるホームドア計画駅の内、1日のご利用者数が10万人以上の駅は4駅(押上、とうきょうスカイツリー、北千住、池袋))

○ホームドア整備に対する課題
 ・ホームドアの整備、ホームの補強、維持更新のコストが大きい。
 ・車種により扉位置が異なり、従来型のホームドアでの対応が難しい。

○ホームドア整備の全体計画
 「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」(中間とりまとめ)の整備方針に基づき、1日のご利用者数が10万人以上の駅のうち、整備条件が整っている3駅を2020年度末までに整備(押上、北千住3F、池袋)。
 また、2021年度以降については、特にご利用者数が多い区間の駅として、東武スカイツリーライン北千住～竹ノ塚間、東武東上線池袋～成増間におけるホームドア整備を計画しており、うち1駅(竹ノ塚)については2021年度整備予定、4駅(小菅、五反野、梅島、西新井)については2020年度に調査・設計に着手している。なお、ホームドアについては国・関係自治体のご支援をいただきながら整備を推進していく。

②都内駅における各駅の計画

<優先駅(利用者10万人未満)>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (令和3年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特長	
小菅駅	東武スカイツリーライン	令和2年度～	行政関係施設が複数立地	島式ホーム THライナーの通過駅	未整備
五反野駅	東武スカイツリーライン	令和2年度～	教育施設が立地	島式ホーム THライナーの通過駅	未整備
梅島駅	東武スカイツリーライン	令和2年度～	行政関係施設が複数立地	島式ホーム THライナーの通過駅	未整備
西新井駅	東武スカイツリーライン (大師線除く)	令和2年度～	福祉施設、商業施設、文化・児童施設が集積	島式ホーム(2面) 東武大師線との乗換駅 特急・THライナーの通過駅	未整備
竹ノ塚駅	東武スカイツリーライン	令和3年度	特別支援学校、福祉施設、教育施設が集積	島式ホーム	未整備
北池袋駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	教育施設、保育施設、養護施設、行政関係施設が集積	島式ホーム 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
下板橋駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	教育施設、保育施設、養護施設が集積	相対式ホーム 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
大山駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	医療施設、老人福祉施設が複数立地	相対式ホーム 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
中板橋駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	教育施設、医療施設が複数立地	島式ホーム(2面) 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
ときわ台駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	教育施設、福祉施設が複数立地	島式ホーム 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
上板橋駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	養護施設、老人福祉施設、養護施設が集積	島式ホーム(2面) 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
東武練馬駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	養護施設、児童施設が複数立地	相対式ホーム 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
下赤塚駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	養護施設が立地	相対式ホーム 川越特急・TJライナー・快速等の通過駅	未整備
成増駅	東武東上線	令和4年度以降 の整備を検討	特別支援学校、教育施設、介護施設が集積	島式ホーム(2面) 川越特急・TJライナー等の通過駅	未整備

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (令和3年3月末時点)
押上駅	東武スカイツリーライン	平成30年度～ 令和元年度	整備済み
とうきょう スカイツリー駅	東武スカイツリーライン	令和4年度以降	未整備
北千住駅(3階)	東武スカイツリーライン	平成31年度～ 令和2年度	整備済み
北千住駅(1階)	東武スカイツリーライン	令和4年度以降	未整備
池袋駅	東武東上線	平成29年度～ 令和元年度	1～4番線 整備済み 5番線については、固定柵により整備

※灰色網掛けは整備済